

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

第83期 中間報告書

2015.4.1 ▶ 2015.9.30

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」

「間口よりも奥行きのある研究」

「進歩は常に需要とともに」

第2四半期財務ハイライト(平成27年9月中間期)

		連結決算
売上高	(百万円)	15,565
営業利益	(百万円)	953
経常利益	(百万円)	1,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	1,522
1株当たり四半期純利益	(円)	109.88
純資産	(百万円)	30,199
総資産	(百万円)	40,945
自己資本比率	(%)	68.9

(注) 本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第83期第2四半期（中間期）の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

大 須 栄 一

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の持ち直しの兆しがあるものの、大きな輸出の伸びや目立った国内生産回帰が見られず、第1四半期のレベルから持ち直すには至っておりません。また海外についてもアメリカは引き続き拡大基調にあるものの、中国や東南アジアでは総じて減速傾向にあります。

このような環境下、第1四半期より子会社化した日本シー・ビー・ケミカル株式会社の寄与及び当社の主要顧客である自動車メーカーをはじめとした海外日系企業でのシェア拡大により、売上高は前年同期比7.9%増の15,565百万円となりました。また、営業利益は前年同期比18.7%増の953百万円となりました。経常利益は前年同期比11.6%増の1,453百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第1四半期に計上した日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円もあり前年同期比60.1%増の1,522百万円となりました。

当社の経営成績は主要顧客である自動車関連業界における生産量の動向や原油価格及び外国為替相場の変動に重要な影響を受ける傾向にあります。国内自動車生産による需要増加は生産年齢人口の減少傾向も相俟って多く

を望めない環境にあります。また、昨今の原油相場や外国為替レートの急激な変動により原材料価格動向も極めて不透明な情勢に陥っております。

このような状況下、当社は今後需要増加が見込める地域及びコア事業の周辺分野開拓に経営資源を投入し経営基盤を強化してまいります。

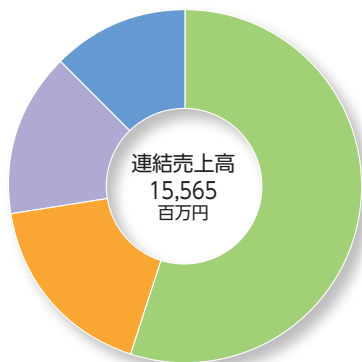
当期では将来の大きな発展が見込まれるインドと日系自動車関連業界の進出が著しいメキシコでの現地生産を本格化し収益の拡大に努めるとともに、グローバルベースでの地域別拡販手法を確立し、日系企業だけでなくローカル企業への販売促進に努めてまいります。また、M&Aにより取得した子会社の経営資源を有効活用しコア事業である金属加工油剤の周辺分野を拡充し、総合力を高めてグローバル展開を加速いたします。

当社は今日まで培ってきたブランド力・海外展開力を活かし長期的な利益創出を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

セグメント情報 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)



日本 55.0%

南北アメリカ 17.5%

中国 15.1%

東南アジア/インド 12.4%

●日本

日本シー・ビー・ケミカル株式会社の寄与によりセグメント売上高は前年同期比3.4%増の8,550百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は固定費の削減

を推進した結果、前年同期比25.1%増の372百万円となりました。

●南北アメリカ

米国では国内の好調な自動車販売、またメキシコでは日系企業向けのシェアアップにより売上高は前年同期を上回りましたが、ブラジルでは景気後退に伴う自動車生産台数の大幅な減少により売上高は前年同期を下回りました。

その結果、セグメント売上高は前年同期比15.5%増の2,728百万円となりました。セグメント利益（営業利益）はメキシコでの生産開始による償却費の負担増加及びブラジルでの減益により前年同期比72.9%減の37百万円となりました。

●中国

景気減速により自動車の販売は不振であったため、現地通貨による売上高は前年同期を下回りましたが、為替の影響によりセグメント売上高は前年同期比11.6%増

の2,352百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原油安の影響で原材料価格が下落したことにより前年同期比6.6%増の309百万円となりました。

●東南アジア/インド

東南アジア各国の自動車生産台数は景気の減速もあり前年割れとなっておりますが、既存顧客に対するシェア拡大によりタイ及びインドネシアにおいては増収となりました。またインドにつきましても、好調な日系自動車メーカーに支えられ増収となりました。マレーシアでは、太陽電池用切断油剤の出荷が大幅に減少した影響により減収となりました。

その結果、セグメント売上高は前年同期比15.1%増の1,935百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、マレーシアを除く拠点での増収効果及び昨年4月に生産を開始したインドにおいて、販売製品の現地生産品への切り替えを進め利益率が改善したことで、前年同期比207.5%増の229百万円となりました。

売上高

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	外部顧客に対する売上高	8,550	55.0	8,269	57.3	3.4
	地域間の内部売上高	414	—	401	—	—
	計	8,964	—	8,671	—	—
南北アメリカ	外部顧客に対する売上高	2,728	17.5	2,361	16.4	15.5
	地域間の内部売上高	3	—	3	—	—
	計	2,732	—	2,365	—	—
中国	外部顧客に対する売上高	2,352	15.1	2,108	14.6	11.6
	地域間の内部売上高	—	—	—	—	—
	計	2,352	—	2,108	—	—
東南アジア/インド	外部顧客に対する売上高	1,935	12.4	1,681	11.7	15.1
	地域間の内部売上高	11	—	9	—	—
	計	1,947	—	1,691	—	—
消去(地域間の内部売上高の合計)		△430	—	△415	—	—
連結		15,565	100.0	14,421	100.0	7.9

セグメント利益(営業利益)

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本		372	39.1	297	37.1	25.1
南北アメリカ		37	3.9	138	17.2	△72.9
中国		309	32.5	290	36.1	6.6
東南アジア/インド		229	24.1	74	9.3	207.5
消去(地域間の内部利益の合計)		4	0.4	2	0.3	—
連結		953	100.0	803	100.0	18.7

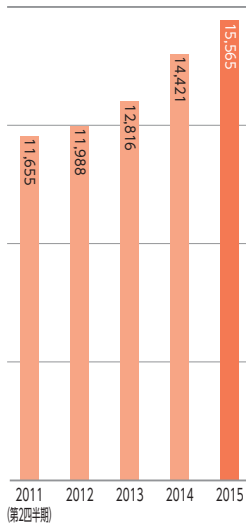
※各セグメントに属する国

日本 : 日本
 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
 中国 : 中国
 東南アジア/インド : マレーシア、タイ、インド、インドネシア

連結業績推移

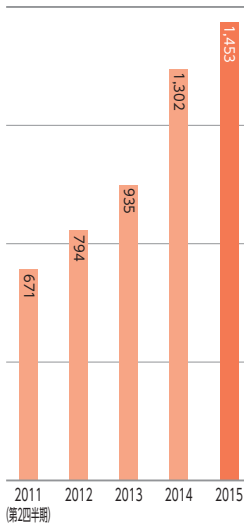
売上高

(単位：百万円)



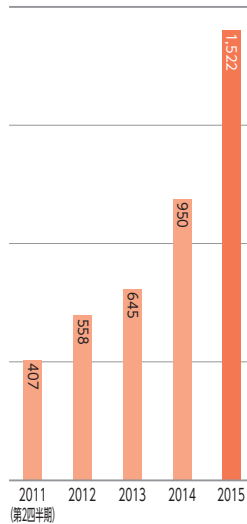
経常利益

(単位：百万円)



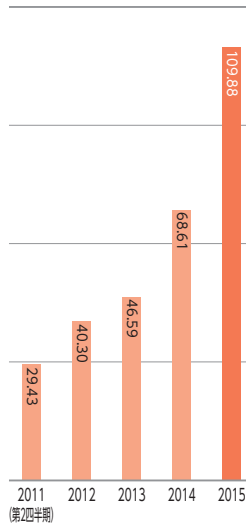
親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



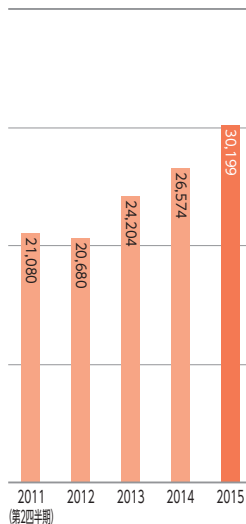
1株当たり四半期純利益

(単位：円)



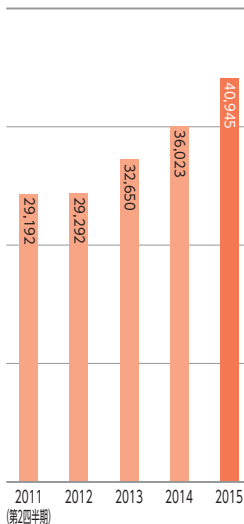
純資産

(単位：百万円)



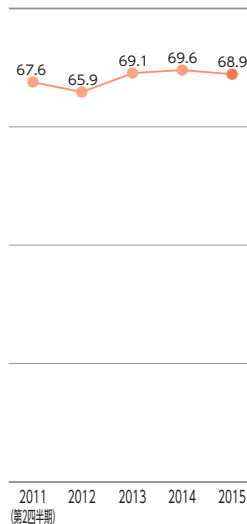
総資産

(単位：百万円)



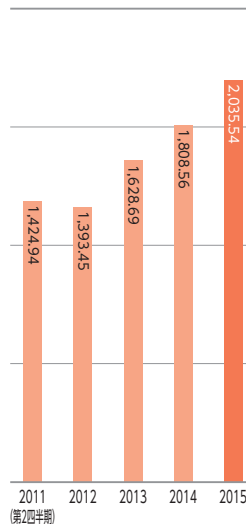
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	17,369	16,342
固定資産	23,575	22,163
有形固定資産	12,159	10,824
無形固定資産	776	820
投資その他の資産	10,638	10,518
資産合計	40,945	38,506
●負債の部		
流動負債	7,895	7,723
固定負債	2,850	1,767
負債合計	10,745	9,490
●純資産の部		
株主資本	27,534	26,300
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,024	3,994
利益剰余金	19,310	18,106
自己株式	△50	△50
その他の包括利益累計額	665	958
その他有価証券評価差額金	1,079	1,391
為替換算調整勘定	△321	△328
退職給付に係る調整累計額	△92	△104
非支配株主持分	2,000	1,756
純資産合計	30,199	29,015
負債及び純資産合計	40,945	38,506

資産の部

資産は、40,945百万円となり、前期末に比べ2,438百万円増加しました。主な要因は、「有形固定資産」が1,335百万円、「現金及び預金」が618百万円、「受取手形及び売掛金」が300百万円、「投資有価証券」が149百万円増加したことによります。

負債の部

負債は、10,745百万円となり、前期末に比べ1,254百万円増加しました。主な要因は、「未払金」が305百万円減少したものの、「長期借入金」が767百万円、「その他の流動負債」が200百万円、「退職給付に係る負債」が198百万円、「支払手形及び買掛金」が135百万円、「短期借入金」が122百万円増加したことによります。

純資産の部

純資産は、30,199百万円となり、前期末に比べ1,183百万円増加しました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」が312百万円減少したものの、「利益剰余金」が1,203百万円、「非支配株主持分」が243百万円増加したことによります。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	15,565	14,421 ●
売上原価	10,988	10,371
売上総利益	4,577	4,050
販売費及び一般管理費	3,623	3,246
営業利益	953	803 ●
営業外収益	593	533
受取利息及び受取配当金	110	98
持分法による投資利益	399	349
その他	83	85
営業外費用	93	34
支払利息	20	16
その他	73	18
経常利益	1,453	1,302 ●
特別利益	541	64
特別損失	—	1
税金等調整前四半期純利益	1,994	1,365
法人税等	314	267
四半期純利益	1,679	1,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	157	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,522	950 ●

売上高

売上高は、第1四半期より子会社化した日本シー・ビー・ケミカル株式会社の寄与及び当社の主要顧客である自動車メーカーをはじめとした海外日系企業でのシェア拡大により前年同期比7.9%増の15,565百万円となりました。

営業利益

営業利益は、前年同期比18.7%増の953百万円となりました。

経常利益

経常利益は、前年同期比11.6%増の1,453百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

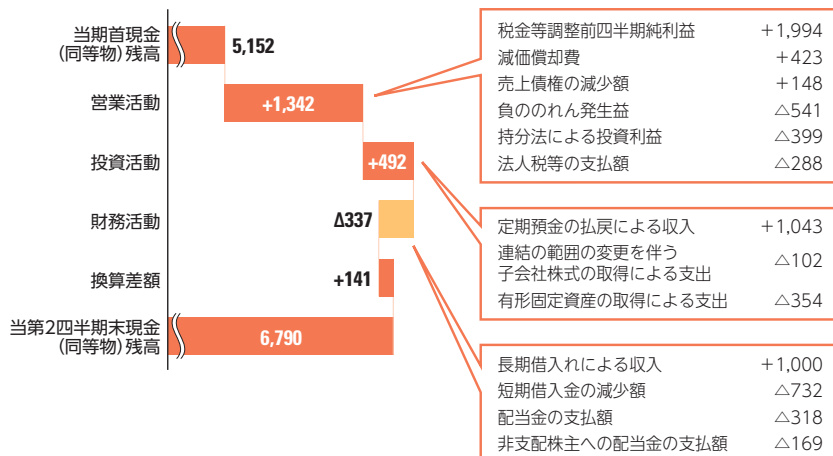
親会社株主に帰属する四半期純利益は、第1四半期に計上した日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円もあり前年同期比60.1%増の1,522百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,342	455
投資活動によるキャッシュ・フロー	492	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△337	△55
現金及び現金同等物に係る換算差額	141	△75
現金及び現金同等物の増減額	1,638	△36
現金及び現金同等物の期首残高	5,152	4,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,790	4,772

四半期連結キャッシュ・フロー（主な要因事項） (単位：百万円)



株式情報 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 13,900,065株

株主数 5,611名
(前期末比73名増)

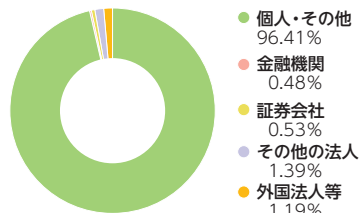
大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	10,574	7.63
ユシロ化学工業取引先持株会	7,715	5.56
株式会社三井住友銀行	6,226	4.49
スズキ株式会社	5,490	3.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	4,035	2.91
ユシロ化学工業従業員持株会	3,364	2.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	3,192	2.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,161	2.28
三井住友海上火災保険株式会社	2,860	2.06
長瀬産業株式会社	2,437	1.75

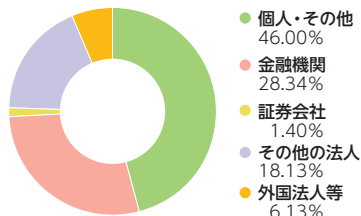
※当社は、自己株式464百株を保有しております。持株比率は、自己株式(464百株)を除いて算出しております。

株式の分布状況

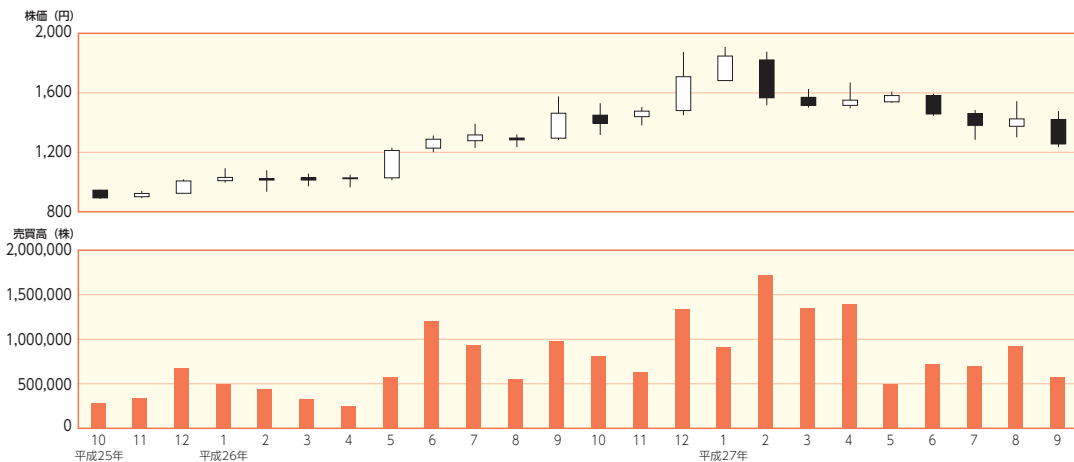
株主数比率



株式数比率



株価チャート



会社情報 (平成27年9月30日現在)

■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	http://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	320名(連結867名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、太陽電池用切断油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品

■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
日本シー・ビー・ケミカル株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ Inc. [米国]
ユシロドブラジルインダストリアケミカ Ltda. [ブラジル]
ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
広州尤希路油劑有限公司 [中国]
ユシロマレーシア Sdn.Bhd. [マレーシア]
ユシロ(タイランド) Co., Ltd. [タイ]
ユシロインディアカンパニー Pvt. Ltd. [インド]
PT. ユシロインドネシア [インドネシア]

■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]

■ 役員

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	岸 裕次
常務取締役	百束 立春
取締役	瀧元 伸二
取締役	有坂 昌規
取締役*1	片山 久郎
常勤監査役*2	佐々木 智
常勤監査役	阪口 善裕
監査役*2	野末 昭孝

(注) ※1は社外取締役です。

※2は社外監査役です。

■ 事業所

神奈川テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
名古屋テクニカルセンター	愛知県名古屋市緑区鳴海町杜若 100
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市緑区鳴海町杜若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧海晃第一ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

